



小さな政府の民間活力と自由主義という理想

Office  
of  
黒田イナシヨナル コンサルティング  
Takeshi  
Kuroda  
黒田 毅

これらは統制国家と自由主義という相剋なのである。これは小さな政府と民間活力のバランスが、自由経済システムと財政システムの健全性、マネーシステムの健全性を与えるというアメリカが理想とする自由主義の完成なのである。

他方においては、統制国家が存在する。全ての社会システムが国家統制下に存在することである。

これらは、現在のアメリカ合衆国における新しい潮流、新しい社会と生活という現実には真実なのである。これらは自由主義における彼らの一つの答えであり、現実として存在するものである。

他方において、IoT 革命における、新しい社会インフラ投資は、その未来の創造において、財政支出を大幅に拡大して行うべきなのである。これらは新しい産業基盤を自国産業において与えることができ、小さな政府という現実には、中央行政の縮小と、民間への委託、地方行政の改革において新しい国家システムへの転換を実現できるものである。

もし、岸田首相が表明する新資本主義が、ベーシックインカムに基盤する新しい社会革命を提案できるならば、これらは新しい現実を世界へ与えることができるのである。

これらは自国における健全なマネーシステムをデジタル通貨への転換とともに行うとき、自国経済が、全ての分野に自己を有し、新しい技術基準における市場参加を実現できるならば、国家における財政の健全化への転換とともに、国家経済が、その強さを回復することができるものである。

これら自国の安定化は、独自外交と軍事と経済安全保障における、新しい政治環境基盤への転換における国家の改変を与えることができるものである。

これらは第3の選択という新しい現実を国家と世界へ与えるものであり、現実への選択として間違いではないと考える。